

未来にはばたく栄養士

私が栄養教諭として勤務している兵庫県立姫路聴覚特別支援学校は、世界文化遺産の姫路城を間近に臨むことができ、歴史と文化、四季の移り変わりを感ずることができる素晴らしい環境の下、幼児から高校生までの子どもたちが在籍しています。また、遠方から通学する生徒のための寄宿舎があり、給食以外にも朝食・夕食の対応もしています。私の主な仕事は、給食管理と食に関する指導です。献立作成では、旬の食材や地域の食材、郷土料理や行事食などを盛り込み、給食が「生きた教材」となるよう心がけています。毎日、その日の献立のポイントや栄養、食事マナー、衛生、食文化などを書いた卓上メモを作成し、「ちょこっと食育」に活用しています。

栄養教諭は栄養士であり、教師であり…仕事内容が多岐にわたり大変ですが、とてもやりがいのある仕事です。子どもたちが食べることをとおして「生きる力」を身につけ笑顔で過ごせるように、栄養教諭としてレベルアップしていきたいです。



8:25~ 8:35	職員朝礼	11:45~13:30	給食指導
8:35~11:00	調理員と打ち合わせ (連絡) 進行状況確認 事務仕事 (献立作成・書類作成等)	13:30~15:00	事務仕事 (献立作成・書類作成・教材作成)
11:00~11:45	給食準備・検食	15:00~15:45	休憩
		15:45~16:55	事務仕事 (伝票整理、帳票類確認)

<校内>

職員会議、校務部会 (月1回) 学校保健委員会 (年1回) アレルギー疾患対応委員会 (年1回定期、随時)

<校外>

兵庫県立特別支援学校栄養教諭研究会 兵庫県学校栄養士協議会

■ やりがいがあると感じた瞬間

毎月、献立の作成に悩まされていますが、調理員さんと試行錯誤して心を込めて作った給食を、笑顔で食べている子どもたちの姿を見るとやりがいを感じます。「おいしかった」「苦手だったけど全部食べられたよ」「また給食で出してください」と言われた時は、いつも心の中でガッツポーズをしています。また、保護者からも直接お声かけいただくことや、レシピを教えてほしいとの要望をいただくこともあります。家庭でも給食について話題になっているのだと、とてもうれしいです。

■ 今年の目標

栄養士として知っておかなければならない知識や技術がたくさんありますが、勤務する学校によっては必要な知識や技術が違います。現在は、聴覚特別支援学校勤務ということで、子どもたちとの普段の会話や、給食・食育指導の時に手話が必要な場面があります。まだまだうまく伝えられないことがあり、先輩方の力をお借りしています。少しでも手話を習得して、子どもたちの役に立つ食育をすることが今の目標です。



小池 未菜 兵庫県立姫路聴覚特別支援学校

勤務年数 3年